



Shinkoh News

——川口新郷工業団地協同組合——



第64回「一水会展」安井曾太郎奨励賞受賞作品
「光の風（南仏）」 森 敬介氏

'03 Jan.60



初春を迎えて

川口新郷工業団地協同組合

理事長 森 敬介

新年明けましておめでとうございます。組合員の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、昨年の日本経済はいまだ低迷し、私どもにとっても厳しい状況の一年でありましたが、小柴昌俊東大名誉教授並びに島津製作所の田中耕一さんのノーベル賞ダブル受賞で日本技術の高さが世界に認められた年でもありました。

当工業団地でいえば、なんとといっても、昨年が一番の事業は「配電線取替え工事」でした。十一年度の「変電所設備の更新」に続き組合員皆様のご協力をいただきこの工事が無事十一月に完了したわけです。

これで、近時にいたって老朽化による故障が頻繁に発生していた変電設備および上を見上げると古くなったことが一目瞭然の配電設備の二つにつき、ここ三年ほどで新しくなり、組合主要事業である共同受配電事業の土台がこれか

ら何十年か先まで磐石となったわけです。のどの奥に何か挟まっているような思いが一気に解消いたしました。

一方、念願でありました南北緩衝緑地帯の回遊路が、八月に完成し、愛称を募集「ゆうゆう歩道」と命名いたしました。

工業専用地域といえますと、閉鎖的なイメージをもたれがちのところ、岡村川口市長の格別なご配慮により、隣接住民の皆様にも親しまれるような空間が出来上がりました。

改めて岡村川口市長の暖かいご理解に感謝したいと存じます。

また、今年の課題といたしましては、市内唯一の貴重な「工業専用地域」であることの認識を持ち「ゆうゆう歩道」を始め団地全体のいっそうの環境保全・美化を図ること、新規事業の研究に限らず既往事業の見直しなど組合員サービスマネジメントの充実を図ることの二つ

に重点を置いて組合運営を行っていきたいと思っております。

景気についてはデフレ克服をしない限り、急激な好転が考えられない状況にありますが、幸い、川口にはパワーがあります。

「SKIPシティ」を始め、地下鉄元郷駅前広場の完成、平成十七年完成を目指して間もなく始まる産業会館の取り壊しや川口駅東口第一工区の再開発事業等、着々と県の「南の玄関」としての体制を築きつつあります。

これらに歩調を合わすためにも、さらに組合員一致結束し、グローバルに考え、ダイナミックに活動する一年としようではありませんか。

皆様の益々のご健勝、事業のご発展を心から祈念申し上げます。新春のことばとさせていただきます。



年頭の「あいさつ」

川口市長

岡村 幸四郎

新年あけましておめでとうございませう。

川口新郷工業団地協同組合員の皆様におかれましては、ご家族お揃いで新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素、本市政の推進に対し、格別なご理解、ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、我が国の景気は持ち直しに向けた動きが見られるものの、そのテンポはさらに穏やかとなり、失業率又、雇用状況を見ても過去最悪の水準を示すなど大変厳しい状況となっております。

一方、本市の産業界を見ましても、製造業をはじめ各業種において売上高・受注の停滞・不振、取引先からの値下げ要求など、依然として大変厳しい経営環境にあります。

このような状況下、既存産業への波及効果や新規雇用機会の創出を図るため、市内工業適地に新

たに生産拠点を設置する事業者を相手に「産業立地促進資金融資」制度を創設するとともに、既往借入金返済に窮する企業の増加を踏まえ、市内企業の企業実態に即した効果的な支援策として既往借入金返済負担軽減を図るための「中小企業緊急支援借換資金特別融資」を実施いたしましたところであります。

また、本年二月一日には我が国最大の映像・情報産業拠点となる「さいたま新産業拠点（SKIPシティ）」がいよいよ街開きをいたします。高度な研究開発・技術支援機能を持ち、産学官連携を推進する「埼玉県産産技術総合センター」や参加体験型の「川口市立科学館（愛称・サイエンスワールド）」等の行政施設「彩の国ビジュアルプラザ」をはじめ、NHKが制作・収集した映像・音声ソフトを一元的に管理・保存し、活用を図るための「NHKアーカイブス」

に重点を置いて組合運営を行っていきたいと思っております。

景気についてはデフレ克服をしない限り、急激な好転が考えられない状況にありますが、幸い、川口にはパワーがあります。

「SKIPシティ」を始め、地下鉄元郷駅前広場の完成、平成十七年完成を目指して間もなく始まる産業会館の取り壊しや川口駅東口第一工区の再開発事業等、着々と県の「南の玄関」としての体制を築きつつあります。

これらに歩調を合わすためにも、さらに組合員一致結束し、グローバルに考え、ダイナミックに活動する一年としようではありませんか。

皆様の益々のご健勝、事業のご発展を心から祈念申し上げます。新春のことばとさせていただきます。

おめでたいおめでとう

☆長寿のお祝い

◇田中特殊鑄造株式会社

田中 紳六 様



米 寿

◇鈴木鍍金工業株式会社

鈴木 義久 様



傘 寿

◇有限会社岩宗鑄造所

荻山 民夫 様



喜 寿

☆叙勲受章のお祝い

平成十四年秋の叙勲にて、勲五等瑞宝章（教育功労）を受章。

元事務局長 橋本 利夫 様



おめでたいおめでとう

☆受賞のお祝い

◇川口市一般表彰（産業功労）

永年にわたり、商工業の団体の役員としての功績が認められ受賞。

共栄工業株式会社

仲道 誠治 様



◇川口市産業技術・技能者顕彰

永年にわたり、熟練した技術・技能をもって産業界の底力となつて貢献していることが認められ「輝き賞」を受賞。

遠心鑄造法による大型鑄物製作の権威者であり、石川金属機工さんの工場長として活躍中。

細井 光治 様



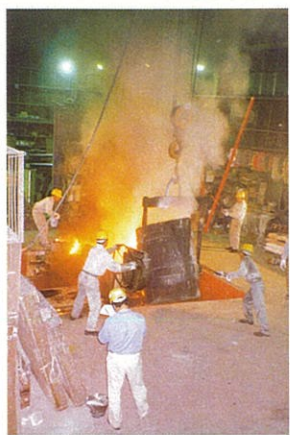
技術特集

石川金属機工さんの LNG船向「大物」鋳込み

昨春秋、単品「砂型」鋳物では日本最大クラス（七トン）の鋳込みに立ち会うことができました。

石川金属機工さんでも年に数回しか生産がされないということで作業現場は圧巻でした。

まず、工場の一角の地面に縦・横5メートル、深さ3メートルの堅穴が掘られており、そこに砂型がデンと据え付けられ、溶解は電気設備フル稼働、それでも五時間以上かかり、素早く二方から大きなバケツ（一個五トン入り）をクレーンで器用に操り砂型に注入、最後はあっけなく終了しました。



自然に冷めるのを待つこと三日、そのあと理論と経験に基づき製品の要所を少し削り検収、それから製品の仕上げ工程へとなるそうです。次の写真が、数週間前にすでに作

られた製品であり、今回の製品と合わせて一つの船舶用部品になるとのこと、合計十四トンその大きさがわかるというものです。



☆石川金属機工さんからのコメント

創業以来、銅合金メーカーとして半世紀以上を迎え、さらにユーザーの皆様にお応えするため、材料から組立、完成まで推進する体制を確立しております。

当社独自の遠心鋳造、また多年の経験から生まれた砂型での大物鋳込みなど製品ひとつひとつ大切に作り上げております。

海洋国日本を支える船舶部品製作を中心に社員一丸となつてがんばっております。

《企業概要》

代表者 石川義明

業種 船舶用スリーブ、重電機、製鉄用部品製造

所在地 川口市江戸袋

二二一十八

北辰機械製缶さんが 新製品「北斗」を発表

平成十四年十月十一日、川口総合文化センター・リアア催し広場にて「自動開放安全吊り具・三トン用」の発表会がありました。

この吊り具は、平成七年三月から十一年五月まで北辰機械製缶さんの社長斎藤博司氏が独自に研究、二つの特許取得後に、十一年七月より川口市内の異業種グループである「川口異業種交流プラザ」で同氏が中心となり共同開発されたものです。

◇川口市新製品アイデア賞

◇中小企業創造法認定

◇埼玉県新製品補助金

◇雇用・能力開発機構補助金

などの賞・認定を受け数々の試作機を経て実用化となりました。



今までの吊り具と異なる点は、柱など取り付け作業が終わったあとに、柱に取り付けた吊り具を、はしごなど用いて人手で取り外していた

「こもれば遊歩道」 ご応募

鈴木鍍金工業(株)様

岡村川口市長様

ほかにご応募いただいた方々

(株)北辰機械製缶様

川口トラック協同組合様

石川金属機工(株)様

(有)徳山製作所様

(有)ミノル機械製作所様

(株)笠松製缶様

ありがとうございました。

●歩こう会

立派な「歩道」が完成し、使わないとすぐ痛んでしまいたいという。でも一人で歩くのは億劫だ。最近太りすぎみだ。

という御仁のため。事業副委員長石田昭氏が発起人となり「ゆうゆう歩道を歩こう」会を発案、「余り堅苦しい会にはしない

で、何日の何時に歩くだけ決め、何処から参加しても、何処で抜けても良いゆつくり、のんびり歩く会にしたい」との提案をいただき、事業委員会にて審議され実行されることとなりました。

一、毎週二回

月・金曜日・午後十二時三〇

ゆゆう歩道完成

●新郷工業団地緑地帯遊歩道完成

平成十二年より、組合創立三十周年記念事業の一環として、新郷工業団地の周りを囲む緑の隔壁を周辺住民並びに組合員さらにはその事業所で働く従業員の皆様の健康増進・憩いの場として活用すべく川口市のご支援を頂き、緑地帯の中を歩ける「遊歩道」工事を進めてまいり、昨年八月に、ほぼ新郷工業団地を一周する遊歩道が完成いたしました。

総延長約三キロメートル、幅約一メートル、一周に約四十分ゆつくり散歩をすると健康に良い時間と距離です。

場所により緑が鬱蒼と生い茂る所、日がさんさんと降り注ぐ所、春は隣の桜を鑑賞し秋は紅葉する所も在ります。

是非、一度は歩いてみてください。

●岡村市長を表敬訪問

九月二十六日、遊歩道が完成したお礼と報告を兼ね、岡村川口市長を表敬訪問した。

岡村市長には公務多忙の中、時間を割いていただいた上、美味しいと評判のカレーライスまでご馳走していただき重ね重ねありがとうございます。



岡村川口市長を表敬訪問

●命名「ゆうゆう歩道」

遊歩道完成に伴い、昨年九月に愛称を募集いたしました所、九社より二十案の応募をいただきました。

十月十五日に厳正審査の結果

(株)川口鍛工所

(有)森製工場

奇しくも二社よりの応募による

「遊歩道」が選定され、理事会の

席で「少し硬い、遊遊をひらがなに

したらどうか」と言う小林常務理事

の提案により

「ゆうゆう歩道」と命名されました。

次点

ものを、吊ワイヤーをさらに下げることで、自動的に開放し、取外しができるところにあります。



☆北辰機械製缶さんからのコメント

考えたアイデアが、優れていてもそれを具体的な品物にするには、十回以上の試作実験が必要でようやく形になりました。

途中で開発の金が無くなり、何度も中断しましたが、補助金に助けられて続けることができました。

最終的には「操作性の良い軽くて強度に耐えるもの」、「人にやさしいデザインのもの」、さらには「買ってもらえる価格の安いもの」と厳しい要求を迫りました。

皆さんの税金による補助金で生まれたものでもあり、世の中に役立つよう頑張ります。

分

二、集合場所 新工会館

とするが、集団で歩いているのを見かけましたら、何処からでも合流して、また何処で離れても結構です一緒に歩きましょう。

十二月二日より始めていますのでぜひご参加ください。



●もう「ゴミ」が...

十月二十二日に組合員の皆様にボランティアで参加いただき、清掃していただいた、緩衝緑地帯並びにゆうゆう歩道ですが、十二月二日に散歩しますとすでにコンビニ袋に入ったゴミや空き缶が捨ててあります。

ゆうゆう歩道を歩かれるあるいは、ベンチなどで休息され飲食をされるのは結構ですが「ゴミは持ち帰られますよう」今一度関係諸氏並びに利用者の皆様をお願いいたします。

一水会展入賞

合資会社森鑄工場

森 敬介 様

平成十四年九月十九日から十月三日まで東京都美術館にて開催された一水会展(※)の「安井曾太郎奨励賞」を受賞。

※昭和十一年、安井曾太郎や石井柏亭など日本を代表する画家たちが創立。写実を旨とし、多くの有名画家を育ててきた会



作品は、油絵「光の風(南仏)」、フランスの避暑地「サントロペ」、穏やかな湾のほとりにある七月の明るい日差しの中の街を描いた力作です。
「なんとも言えないさわやかさ。地元で取れる土で作られた家々に文化を守る心を感じ、ここだ!と思ったね。」受賞にあたっての喜びの声でした。

なお、今年の七月、川口総合文化センター・リリア一階にて個展を開かれるとのこと、ご都合のつく方は是非ご鑑賞ください。

川口市美術展入賞

株式会社笠松鑄工場

笠松 雅美 様

平成十四年十一月二十日から十二月一日まで川口総合文化センター・リリアにて開催された第三十回記念川口市美術展の「教育長賞」を受賞。

作品は、洋画「モレーの川辺」、モレーは、セーヌ川の支流が静かに流れるフランスの古い町で、シスレーやモネがこよなく愛した町としても有名です。

平成十年七月・十一年七月の二回ここを訪れスケッチ・デッサンのうえじつくりと作成、かのナポレオンが渡った歴史的な橋も描かれております。



☆受賞者より

平成六年(一九九四年)正月、森さん外数名と房総方面へ旅行、そこで水彩画としてのスケッチをしたのが初めて。

平成七年頃から三越文化センター水彩画教室、平成八年にはN・H・Kアクリル教室にそれぞれ入校、本格的に勉強を開始。

六十五歳を過ぎてからの手習いのため、画題・場所を選ばず枚数を描くことに専念、時間の許す限りスケッチ・デッサンをした。

その間、森さん・橋本さんに大いに指導をうけ、また毎年正月に二泊三日のスケッチ旅行にも参加している。行き先は、房総方面・富士川・秩父・三浦半島などで、今年の正月は三浦半島の城ヶ島にてスケッチを行っています。

◇画歴

川口市展

平成八年より連続入選

埼玉県展

平成十年より連続入選

現在、川口市ならびに埼玉県の美術家協会会員

ブロックだより

Bブロック長

(株)中久製作所 中野房子

平成十四年十二月十四日午後六時よりBブロック忘年会を、南浦和にある「小島屋」にて楽しく盛大に行いました。参加者十三名。

このあたりで「うなぎ」と言えば小島屋といわれるぐらい有名で美味しく、皆様もよくご存知のお店です。

鯉のあらい、鯉こく、そして特大のうなぎ料理を食べながら、今年の厳しかったこと、日ごろ感じていることなどを話す事ができ、大変意義のあった忘年会でした。

来年はいろいろな行事を行うことも話し合い、最後に全員健康に注意し元気で平成十五年も頑張っていく事を誓い合って散会となりました。

